

(1) デジタル田園都市国家構想交付金（拠点整備タイプ） 活用事業

A…目標を上回る成果、このままの進捗度であれば目標を達成できる見込み
B…おおむね目標どおりの成果（80%以上）、このままの進捗度であればおおむね目標を達成できる見込み
C…目標を下回る成果、このままの進捗度では目標達成が困難、一層の取り組みが必要

No	交付対象事業名称等 ※対象事業費、交付金充当 額は本市分のみ	事業の目的・概要	事業取組状況（本市分）	重要業績評価指標 （K P I）	単位	基準値	実績値	目標値	目標値 （事業最終 年度）	進捗 状況	進捗状況に関する説明	今後の対応方針
1	次世代子育てステーション 整備事業 【市単独】 （R4～R8年度） 対象事業費計 861,467千円 交付金充当額 430,733千円 ※施設はR5年度完成 [クラッピン サガエ]	寒河江市の名産「さくらんぼ」をメー ンテーマに、観光物産拠点、文化交流拠 点、情報発信拠点として整備されたチェ リーランド。その再整備に合わせて屋内 型児童遊戯施設を設置する事業。 子どもたちの遊びの場であるとともに 学びの場として整備することで、多くの 体験から好奇心や自主性を育み、夢に向 かってチャレンジする子どもたちを応援 する事業。	チェリーランド西側に、令和6年4月 にオープン。			R3	R5	R5	R8			
				施設利用者数	千人	0	0	0	120	—	令和6年4月にオープンし たため実績なし。	利用者増に向け、市内外に 幅広くPRしていく。
				市施策を利用して移住し た世帯数	世帯	53	33	43	88	C	例年よりも住宅建築補助金 の利用が少なく、特に県外 からの利用が少なかった。	利用者増に向け、市内外に 幅広くPRしていく。また、 本市の充実した子育て政策 からの利用が少なかった。
				年少人口の転入者数一転 出者数	人	48	9	55	119	C	上記同様、県外からの転入 が少なかった。	上記に同じ
				さがえっこすくすくアプ リ（母子モ）登録者数	人	601	886	1,086	1,661	B	PRが奏功し、堅調に積み増 すことができた。	利便性をアピールし、登録 者増を目指す。
2	アウトドア活動拠点整備事 業 【市単独】 （R4～R6年度） 対象事業費計 72,534千円 交付金充当額 36,267千円 （効果促進事業分） 対象事業費計 3,861千円 交付金充当額 1,930千円 ※施設はR5年度完成 [キャンプ場]	昨今、旅行スタイルは多様化し、団 体旅行から家族連れの旅行に変化してい ること、また、道の駅は通過点ではなく 目的地化されていることなどから、隣接 する河川敷公園の利活用を含め、道の駅 の魅力向上を図り、多くの来場者を迎え ることで、家族連れを屋外遊具へ誘導す るとともに、家族連れや来場者を屋外型 宿泊体験施設へ誘導、周知し、屋外型宿 泊体験施設への来訪へつなげる。これを きっかけとした、交流人口の拡大を図 る。	本施設は、アウトドア活動や周遊観光の 拠点となり、イメージアップの向上や交 流人口の拡大を図り、また、隣接する屋 内遊戯施設（クラッピンサガエ）と連携 して、広大な敷地を最大限に活用した多 種多様なイベントの開催による集客を図 る。			R3	R5	R5	R8			
				屋外型宿泊体験施設の利 用者数	人	0	0	0	980	—	令和6年4月にオープンし たため実績なし。	隣接する屋内遊戯施設とと もに、利用者増に向け、市 内外に幅広くPRしていく。
				屋外型宿泊体験施設の利 用者のうち、アウトドア 体験（登山、スキー等） 目的利用者の割合	%	0	0	0	25	—	上記に同じ	上記に同じ
				葉山市民荘の利用者数	人	73	52	77	93	C	葉山登山者の減少に比例し て、市民荘の利用者も減少 した。	主に登山者等の利用者増に 向けて積極的にPRしてい く。
				寒河江市を訪れた観光客 数（さくらんぼ観光果樹 園来園者を除く）	千人	2,209	2,736	2,770	3,570	A	PRが奏功し、目標を上回る 結果となった。	SNSによる情報発信に注力し ていく。
3	緑と花と水辺の公園「次世 代子育てアウトドアステー ション」再整備事業 【市単独】 （R4～R6年度） 対象事業費計 104,687千円 交付金充当額 52,343千円 ※施設はR5年度完成 [いこいの森]	子育て世帯が森林資源に触れながら、屋 外でのびのびと遊ぶことができる「次世 代子育てアウトドアステーション」を整 備する。	本施設は自然を生かした森林公園で指 定管理者制度による民間事業者のノウハ ウを活かした管理運営によりコストを抑 えるとともに、自主事業開催や地元特産 品の販売による財源確保により行政から の一般財源縮減を図る。 地元特産品の販売による地元農林業の 振興、アウトドア人気による本施設の キャンプ需要が高まりから交流人口が増 加し、他の観光拠点施設への回遊性が向 上することの相乗効果による好循環が見 込まれる。			R3	R5	R5	R9			
				寒河江市いこいの森キャ ンプ場の利用者数	千人	20	22	25	27	B	令和6年度より利用開始の ため実績なし。	利用者増に向け、市内外に 幅広くPRしていく。
				市施策を利用して移住し た子育て世帯数	世帯	53	58	59	100	A	堅調に推移している。	子育てしやすい環境の整備 を広くアピールして、子育 て世代の移住につなげてい く。
				年少人口の転入者数一転 出者数	人	48	56	56	139	A		上記に同じ

No	交付対象事業名称等 ※対象事業費、交付金充当 額は本市分のみ	事業の目的・概要	事業取組状況（本市分）	重要業績評価指標 （K P I）	単位	基準値	実績値	目標値	目標値 （事業最終 年度）	進捗 状況	進捗状況に関する説明	今後の対応方針
4	柴橋地区多世代交流センター整備事業 【市単独】 （R元～R5年度） 対象事業費計 392,208千円 交付金充当額 194,119千円 ※施設はR元年度完成、 KPI等検証は5年間必要 [柴橋地区コミュニティセンター]	地区内での少子高齢化の進展、3世代同居率の急減のため、子育て世代と高齢者の交流機会の増加による相互理解と子育て・福祉関連事業の展開が必要となっている。 これまでの生涯学習施設の枠組みを超えた新たな交流施設（地域の文化・スポーツ・子育て・福祉・防災・プロモーションの拠点）として多目的交流センターを設置し、地域住民の健康づくり、安全安心な暮らしの確保、地域内外の交流、地域住民の生きがい創出を図る。	①柴橋地区多目的交流センター整備 ・しばはし（4884）地域づくり委員会による活用			H30	R5	R5	R5			
				多世代交流センター利用者数	人	0	12,951	40,300	40,300	C	アフターコロナのイベント等実施体制の調整が進まず、目標を下回った。	状況を見ながら活動を行っていく。
				多世代交流センターを活用した域内対象イベント数	回	0	6	74	74	C	上記に同じ	上記に同じ
				多世代交流センターを活用した域内と域外の交流推進イベント数	回	0	0	24	24	C	上記に同じ	上記に同じ
5	歴史生き活き！慈恩寺地区文化交流拠点整備事業 【市単独】 （R2～R6年度） 対象事業費計 267,143千円 交付金充当額 133,571千円 ※施設はR2年度完成、 KPI等検証は5年間必要 [慈恩寺テラス]	東北有数の文化財を有する慈恩寺を中心とした観光拠点化を図るため、歴史的価値を伝えるガイドンス施設（文化庁補助）に、地域の食や特産品に触れたり観光客と地域住民が情報交換できる交流拠点施設を整備し、通年観光の実現や観光資源間の回遊性向上を図り、地域への新しい「ひと」の流れを創出し経済効果の高い観光地域づくりを推進する。	①歴史生き活き！慈恩寺地区文化交流拠点整備 ・ガイドンス施設と一体的に整備 ・飲食物販売、土産品等販売、慈恩寺地区の歴史や文化に触れられる各種事業を実施			H30	R5	R5	R6			
				施設利用者数	人	0	81,048	47,000	50,000	A	目標を超える結果となったが、前年度より約19,000人減となった。コロナ収束後、県外からの来館者は増加したが、県内からの来館者減をカバーできなかった。	1年を通じた県内外からの来館者の獲得に向けたPRや事業を実施していく。
				醍醐地区の観光収益	千円	13,934	50,466	100,496	106,268	C	来館者減により、売り上げも伸びず、目標を下回った。	来館者増に向けたPRや魅力的な商品を揃えていく。
6	温泉を活用したチェリースポーツパーク拠点施設整備事業 【市単独】 （R4～R8年度） 対象事業費計 715,162千円 交付金充当額 357,581千円 ※施設はR4年度完成、 KPI等検証は5年間必要 [市民浴場ゆるりさがえ]	温泉を活用したスポーツツーリズム近くには東北最大級のスケートパークや内水面施設グリバーさがえ、チェリーナなどスポーツ施設が多く立地している。それらを温泉と健康を目指す事業	「湯るりさがえ」令和5年4月にオープン。 さくらんぼマラソンやツール・ド・さくらんぼ、さくらんぼウォークなどスポーツイベントでクーポンを配布し、市内外の観光客に魅力をアピールした。			R2	R5	R5	R8			
				施設利用者数	人	0	262,496	300,000	354,000	B	施設利用者の目標の30万人には届かなかったが、次第に認知されてきている。	利用者増に向け、市内外に幅広くPRしていく。
				スポーツツーリズム（イベント）参加者数	人	3,330	3,817	6,100	8,980	C	コロナ収束後のスポーツイベント等の再開により、前年比2倍以上となったが、目標には届かなかった。	イベント実施の広報とともに、イベントの魅力アップを図っていく。
				スポーツツーリズム（イベント）参加者のうち宿泊者	人	30	448	730	1,780	C	コロナ収束後のスポーツイベント等の再開により、前年比2.5倍以上となったが、目標には届かなかった。	イベント再開の広報とともに、イベントの魅力アップを図っていく。

(2) デジタル田園都市国家構想交付金（推進タイプ） 活用事業（市単独事業または寒河江市が代表の連携事業）

A…目標を上回る成果、このままの進捗度であれば目標を達成できる見込み
B…おおむね目標どおりの成果（80%以上）、このままの進捗度であればおおむね目標を達成できる見込み
C…目標を下回る成果、このままの進捗度では目標達成が困難、一層の取り組みが必要

No	交付対象事業名称等 ※対象事業費、交付金充当額は 本市分のみ	事業の目的・概要	事業取組状況（本市分）	重要業績評価指標 （K P I）	単位	基準値	実績値	目標値	目標値 （事業最終 年度）	進捗 状況	進捗状況に関する説明	今後の対応方針
1	「ヒト・モノ・カネ」循環 からはじまるサステナブル・アグリプロジェクト 【市単独】 （R5～R7年度） 対象事業費 8,270千円 交付金充当額 4,135千円 〔農業振興〕	省力化・軽労力化機器の導入など農業DXを推進し、農作業の方法を大きく改善することで、高齢農家や女性農業者の作業負担を軽減し、生産コストの軽減や生産効率の向上を図る。また、安全安心で高品質な本市農産物のブランド力を強化するための各種プロモーションを展開し、知名度アップによる販路拡大や販売価格の上昇による農業者の所得アップ、販路開拓した大都市圏からの農作業体験観光の推進による観光業の活性化等により、地域資源の循環を起点とした「稼げる農業、持続可能な農業」を目指す。	①地域農業振興拡大事業 ・農業労働力確保対策事業 ・就農セカンドライフ応援事業 ②地力向上・経営確立対策推進事業 ・堆肥散布推進事業 ・水田地力向上対策事業補助金 ③農産物等のPR・ブランド化事業 ・農産物等PR情報掲載段ボール製作委託 ・ブランド化推進事業 ・つや姫の里推進事業 ・販路拡大推進事業 ④もぎとり等体験観光促進事業		R4	R5	R5	R7				
				組織化堆肥散布面積	ha	0	2	5	7	C	資材高騰等が影響し、実績につながらなかった。	今後は資材高騰等に対応可能な形で実施方法を検討する。
				市内の農産物と商工業者等のマッチング件数	件	1	13	2	4	A	ブランド力向上の取り組みが浸透してきたため、目標を上回ったと考えられる。	今後も継続して取り組んでいく。
				就農セカンドライフ応援事業を活用した対象者数	人	0	0	2	10	C	新規就農者を増加させるための取り組みの効果が浸透しなかった。	今後は労働力確保対策事業への取り組み強化を検討する。
				もぎとり体験者数	千人	52	59	80	160	C	農産物自体は不作な中で、プロモーションによる地域ブランドの確立、SNS等を活用した情報発信等が効果的に機能した。	今後も継続して取り組んでいく。
2	寒河江市観光振興活性化プロジェクト 【市単独】 （R5～R7年度） 対象事業費 18,201千円 交付金充当額 9,100千円	市の歴史・文化を知ってもらうためのツアー等の新たな観光コンテンツを開発するために、慈恩寺・寒河江八幡宮神社や市内観光施設で本市ならではの体験型観光メニューを企画創出することで、実際に体験でき、楽しめる観光形態の創出を図る。また、インバウンドの回復に向け、外国人旅行者が市内でストレスなく旅行できるような環境整備が必要なため、おもてなし観光施策の推進、外国語対応DX利用や外国語用案内看板設置により外国人観光客が安心して訪れ、滞在できる受け入れ態勢の整備と強化を図る。	①慈恩寺等の既存観光施設の新たな活用方法と磨き上げ事業 ・史跡慈恩寺旧境内散策事業 ・大江広元公ゆかりの地さがえ親善観光大使等を活用した歴史ツーリズム事業 ②周年観光施策の充実事業 ・体験型観光誘客事業 ・公共交通サービス対策事業 ③おもてなし観光（インバウンド等含む）施策推進事業 ・ぐるぐるさがえ外国語対応機能追加 ・台湾観光誘客事業 他		R4	R5	R5	R7				
				寒河江市を訪れた観光客数	千人	2,225	2,796	2,850	3,600	B	堅調に積み増すことができた。	県外からの観光客増に向けたPRを、引き続き実施していく。
				外国人観光客数	人	5	11,260	1,795	5,600	A	目標を大きく超える結果となった。インバウンド再開に合わせた施策の展開が有効な結果となった。	今後も継続して積極的にPRしていく。
				ぐるぐるさがえダウンロード数	件	1,094	1,953	2,094	6,094	B	PRが奏功し、堅調に積み増すことができた。	利便性をアピールし、ダウンロード数増を目指す。
3	縁JOYさがえ！～新時代スポーツツーリズム～ 【市単独】 （R4～R6年度） 対象事業費 25,166千円 交付金充当額 12,583千円	スケートボードやトライアスロンなど多様なスポーツ人口を域外から取り込むスポーツツーリズムを展開することにより、人が集い地域経済の活性化が図っていく。	・ツール・ド・さくらんぼ開催事業費 ・さくらんぼウォーク開催事業費 ・グリバーさがえ備品購入費 ・3×3開催事業費など		R3	R5	R5	R8				
				スポーツツーリズムイベント参加者（「する」人）数	人	3,330	3,847	6,130	8,980	C	コロナ収束後、スポーツイベント等への参加が増加傾向にあり、また、アーバンスポーツの推進を図るなど、今後の事業運営手法に新たな道筋が見られる。	スポーツイベントうの情報発信を強化する。
				スポーツツーリズムイベント観客および関係者（「観る」人「支える」人）数	人	0	8,040	9,060	14,460	B		上記に同じ
				スポーツツーリズムイベントに関わる市内宿泊者数	人	30	448	730	1,780	C		イベント参加者に合わせて、増加を目指す。
				スポーツツーリズムイベント参加者、観客および関係者の満足度	%	0	98	80	95	A		参加者及び観客等を増やすため、イベント自体の魅力を高めていく。

デジタル田園都市国家構想交付金（推進タイプ） 活用事業（他自治体が代表の連携事業）

No	交付対象事業名称等 ※対象事業費、交付金充当額は 本市分のみ	事業の目的・概要	事業取組状況（本市分）	今後の対応方針
4	移住定住・人材確保戦略的展開事業 【広域連携（山形県、鶴岡市、酒田市、村山市、南陽市、寒河江市、尾花沢市、河北町、朝日町、西川町、大江町、大石田町、最上町、鮭川村、白鷹町、飯豊町、小国町）】 （R元～R5年度） 対象事業費 3,568千円 交付金充当額 1,784千円	移住者目線での情報発信、移住希望者とのマッチング強化、山形らしい移住促進策の一体的展開による県外からの移住者拡大、社会減少の抑制を図る。	①情報発信 ・移住者ガイドブック印刷、移住情報SNS広告掲載 ②関係人口構築 ・首都圏の大学と交流プログラム ③移住定住定着 ・寒河江ベース（お試し移住、ワーケーション用施設）運用費用	移住定住・人材確保策を一体化・組織化し、「若者（特に子育て世代）」を主なターゲットに、移住希望者のニーズに寄り添った質の高い移住定住・人材確保策を戦略的に展開し、県外からの移住者増を目指す。
5	誰もが居場所と役割を持って生涯活躍できる地域コミュニティづくり推進事業 【広域連携（山形県、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、長井市、尾花沢市、庄内町）】 （R3～R5年度） 対象事業費 2,497千円 交付金充当額 1,248千円	誰もが居場所と役割を持って活躍できる地域コミュニティづくりを進めるため、生涯活躍のまちの各要素ごとに事業を展開する。また、各事業を各地域の地域運営組織を中心に推進するとともに、県内4ブロックの地域づくり支援プラットフォームにおいて広域的な事業推進及び地域運営組織の形成を促進することにより、県全域における生涯活躍のまちづくりを推進する体制を構築する。 【各要素】交流・居場所、健康、活躍・しごと、人の流れづくり	①地域づくり支援 ・地域づくり応援事業 ・柴橋地区コミュニティセンター人件費 ・柴橋地区コミュニティセンター駐車場工事費	柴橋地区においてはコミュニティセンターを活用して、地区住民自らが生涯を通じて健康でアクティブに活躍することにより地域活性化を図る。また、市内全域においても「生涯活躍できる地域コミュニティ」の形成を目指す。
6	他産業と連携した水産業の新たなバリューチェーン等の構築による漁村と内水面漁業地域の創生事業 【広域連携（山形県、鶴岡市、酒田市、遊佐町、庄内町、金山町、真室川町、舟形町、戸沢村、鮭川村、大蔵村、大石田町、尾花沢市、寒河江市、河北町、西川町、大江町、白鷹町、飯豊町、小国町）】 （R3～R5年度） 対象事業費 166千円 交付金充当額 83千円	資源が減少する中においても、漁業を持続可能な産業にするため、付加価値向上などに取り組み、漁業者の所得向上を図る。	稚魚放流などの魚族放流事業費補助金	今後も小中高生等を対象とした出前授業などを開催するとともに、稚魚放流などにより、内水面漁業における新たなにぎわい創出に取り組んでいく。
7	やまがたの未来を担う元気な農林業人材（ひと）づくりプロジェクト 【広域連携（山形県、鶴岡市、酒田市、遊佐町、庄内町、新庄市、舟形町、尾花沢市、東根市、寒河江市、大江町、朝日町、上山市、高畠町、南陽市、長井市、飯豊町）】 （R3～R5年度） 対象事業費 3,804千円 交付金充当額 1,902千円	地域農林業の持続・発展を目的とした取組みや、担い手の育成・確保への取組みについて引き続き支援を行うとともに、農林分野におけるデジタル技術等の導入を更に拡大し、スマート農林業の効果的な活用を図る。 また、協働体制の整った市町村との連携事業として、広域的な事業展開を実施する。	地域農業の維持・発展に向けた多様な担い手育成支援	就農人口の減少や高齢化による担い手の不足、耕作放棄地の増加等による生産基盤の脆弱化などに対し、ICT等の新技術導入による生産性及び収益の向上を図り、新規就農者などの担い手が希望の持てる農業環境づくりを進めていく。
8	光と食でおもてなし！見て、食して、体感する～山形どまんなか冬季観光プロジェクト～ 【広域連携（山形県、寒河江市、河北町、西川町、朝日町、大江町）】 （R3～R5年度） 対象事業費 48,423千円 交付金充当額 24,211千円	冬期間の観光誘客の改善と恒常的な人の流れを創出するため、隣県である宮城県及び県内からの観光客の増加を図るための事業を展開する。イルミネーションを圏域内で拡大させることにより、誘客のための観光資源となるイメージを定着させていくとともに、圏域各自治体に共通する特産品のお酒やそば、地元食材などの「食」にスポットを当てて圏域外への発信を強化していく。また、観光誘客とまちの活性化による相乗効果を狙って創業支援や販売促進活動を行い、地域産品のブランド力強化を目指していく。	①観光振興 ・やまがた音と光のファンタジア開催、街路樹イルミネーション実施 ・アンテナショップ型飲食店（さがゑもん・仙台）と連携した地元産品・観光等PR ②まちづくり活性化 ・起業支援セミナー開催	冬期間における誘客策として雪を地域資源として活用した事業を広域連携により拡大していくとともに、圏域内にある豊富な「食」の資源の魅力をさらに強化・発信することにより、通年観光を定着させ、恒常的な人の流れを創出していく。
9	山形連携中枢都市圏DMO構築による広域観光促進事業 【広域連携（山形市、寒河江市、天童市、東根市、上山市、尾花沢市、村山市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町）】 （R4～R6年度） 対象事業費 778千円 交付金充当額 389千円	単独の市町では対応が難しかった多様な観光需要に対応し、交流人口や観光消費額の増加、新たなビジネスと雇用を創出し、人口減少をはじめとする地域課題の解決に取り組む。	DMOさくらんぼ山形への負担金 ・山形連携中枢都市圏ブランディング事業、満足度調査、コンテンツ開発事業等	引き続き、山形連携中枢都市圏の連携事業の中で、観光事業の連携を位置づけており、圏域全体の観光産業の成長に取り組んでいく。